



最後の頁を閉じた
違う私があった



2021・第75回 読書週間
10/27 ~ 11/9

わたしの“推し”本

書名 光草 (アトリエアコ)

著者名 ロベルト・ピウエーニ

出版社 小山書店

ご感想、おすすめポイントなどご自由にお書きください。

この本はイタリヤの児童文学ですが、

トトが読んででも楽しめると思います。

光を浴びることができない病の少年のために、父親であるトトは一人の画家を呼びよせます。本の知識でしか世界を知らない少年と一緒には、3つの部屋の白い壁に画家は海や山や空や動物達を描き出しています。

心に響く美しい物語が好きなら
おすすめしたいです。

